

目からウロコの中東の常識・非常識

中東

酒井啓子

第8回 金持ちクウェートが嫌われる99の理由?



弟子(以下、◎) 師匠、嫌なヤツですなー、クウェートって。
師匠(以下、◎) これこれ、何だい、藪から棒に。いきなりよそ様のことを悪し様に言うんじゃありませんよ。
◎(うっわー、ありがちな良心派のお答え) だって、ハンドボールの予選試合。審判がべたべたのクウェートびいきで不正だらけなのに、抗議しても聞く耳もたないし、再試合やったら、再試合に参加した国は資格剥奪するとかいうし。ハンドボール委員会の理事とか、役員は王族がガメていてわがまま放題だし、ほかのアラブ諸国も一緒になって、クウェートの味方してるし。ぜったい金にあかして、無理を通してるとしか思えませんぜ。

◎これこれ、それ以上言っと、サダム・フセインになっちゃうよ。
◎はあ？
◎クウェートが自分勝手だの拝金主

義だの、王族の横暴だの弱っちいくせにえぼってんじゃねえよーとか、昔イラクのフセインが、クウェートにがんがん怒ったんだわなあ。
◎えぼってんじゃねえよ、とまでは言ってますんよお。

◎それで、クウェートに侵攻した。あっさり全土を占領して、イラクの領土だと言いつ張った。1990年8月。それで、アメリカが多国籍軍と一緒に、イラクを叩いた。1991年1月の湾岸戦争のきっかけだわな。
◎いやー、クウェート批判すると戦争になりますか。
◎そのときも、軍事侵攻するイラクもひどいけど、クウェートにも同情の余地ないなあ、ってなムードが、周辺国にはあった。
◎亡命してたクウェートの王族が、亡命先で優雅でリッチなわがまま放題だった、って話は聞いたことがあります。

◎正確には王族じゃないんだけどね。首長といって、王様になるには少し正統性を欠く。隣国の大国サウジなんかは、王国でもないのにちっこい首長国風情が、みたいな扱いを長年クウェートにしていたね。

18世紀半ばから、アラビア半島にサウジの王家、サウド一族が勃興し、20世紀初めに半島を統一する勢いで周辺の部族たちを平定していったのに、クウェートやUAEやカタールみたいな首長国は、ちょうどペルシア湾岸にイギリスが色気を示してたんで、うまい具合にイギリスと組んで、サウジ吸収を免れた。なんでもなんちっこい国が独立できたのかといえ、イギリスが庇護してたからとしか見えないわな。

◎やっぱり石油狙いですかね、イギリスの色気ってのは。
◎そのころはまだ石油は見つかってないんだよ。イギリスはインドを植

民地にしてたから、ちょうど中継地点としてこのエリアは重要だった。イギリスは、使い勝手のいい部族の長と同盟組んで、交易ルートを確保したってわけだ。クウェート国内でも、べつに今の首長家が圧倒的に強かったというわけじゃなくて、イギリスが支えたから、イラクにも吸収されずサウジにも吸収されなかった。
◎そういえば、フセインがクウェート占領したとき、「クウェートはもともとイラクの領土だったんだから、併合したっていいんだ！」と息巻いてましたね。

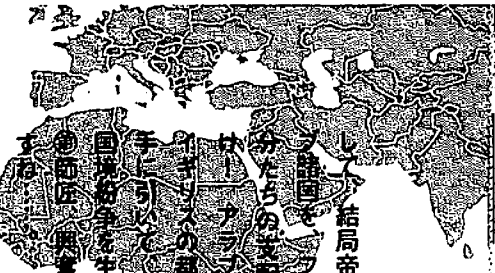
◎ま、それを言うと、トルコなんかから、「だったらイラクもクウェートもシリアもヨルダンも、ぜんぶトルコのものじゃない！」って反論がくるんだけどね。

東アラブの国々は、今の国家体系ができるまでは、大半がオスマン帝国の領内にあった。クウェートは、

一時期オスマン帝国のバスラ州っていう、今のイラクの南部の行政地域に入っていたことは確かなんだな。このオスマン帝国は、べつに民族ごとに国を作る、っていう発想でできた国じゃないから、ヨーロッパの民族もアラブ人もクルド人も一緒に帝国臣民と位置づけられていたんだけど、19世紀後半から、それぞれ民族の間で、「トルコ人ばかりが偉そうにしてる、これからは民族自立の時代だぜ！」と叫んで、独立を求めめる声が出てきた。

それを利用したのが、ちょうど第一次大戦前夜のイギリスなわけで、帝国から離反するアラブ人の後押しをして、ドイツと組んだオスマン帝国を追い詰めた。

◎アラビアのロレンスなんて、英雄がいましたねえ。
◎なーにが英雄かい。イギリスの植民地政策の片棒担いでアラブ人利用



結局帝国から切り離れたアラブ諸国をフランスと山分けして自分たちの支配下にされただけやんか。アラブ諸国を併合させたけど、フランスの都合のいいように国境を手引ひたしてそれがいいが、今の国際紛争を生み出してるんやんけ！

④で、クウェートなんすけど、面積が四国より小さくてクウェート国籍を持つ人口100万弱と、ちっこい国で建国からの歴史も浅いのに、なんでこんなに強気なんすかね。やっぱりイギリスの後押しが……。

⑤石油の力つてのが、大きいわなあ。石油産出量は1015億バレルで、サウジやイランには及ばないけど、国内産業あまりない分、対外投資はすごい。オイルマネーががんだん欧米に流れてる。カタールやドバイもそうだけど、ゴージャスな建物がある

がんでて、その分外人の移民労働者も殺到してる。パキスタン人やエジプト人なんか、湾岸産油国でひと稼ぎ、つてのが、当たり前。

⑥出稼ぎに来た労働者は、潤いますわなあ。

⑦ところがどっこい、これがかなり苛酷なわけよ。クウェート人や湾岸の自国民は、石油収入で潤いまくっているから、単純肉体労働なんてやらない。メイドから運転手から、海外からきて召使状態でこき使われる。湾岸産油国で、フィリピン人のメイドが家主にレイプされたとか、虐待されたとか、それはいろんな事件がおきている。

⑧でも、イスラーム教徒の国だから、同じイスラーム教徒には優しくしてあげるものなのでは……。

⑨あまーい。甘いっ！クウェートなんかは、最初のうちは「同じアラブ人だしイスラーム教徒だから」っ

てんで、パレスチナ人なんかも多く雇っていた。けど、その扱いは、完全に二級市民どころか、もつと下。

有名な小説で、ガッサン・カナファーニーというパレスチナ作家が1963年に書いた「太陽の男たち」っていうのが、あるのね。イスラエルの占領で故郷を追われたパレスチナたちが、職を求めて他のアラブ諸国を旅するんだけど、石油で儲かっているクウェートにいけばいい仕事にありつけるんじや、と思つて、イラクからクウェートに密入国しようとする。ばれないように、給水車のタンクの中に隠れて密入国するんだけど、このタンクが、すごい。昼間外で60度にもなる夏の猛暑の中、換気もない鉄のタンクの中に潜むのは、地獄。

運転手はなんとが早く入国しようとして、クウェートの入国管理で手続きを急ぐんだけど、クウェート人の係

官がまた、仕事はのろいし無駄話ばかりするし、ただ時間つぶしてるだけみたいなオッサンなんだな。それで時間を食ってる間に、タンクの中のパレスチナ人は、死んじやう。

⑩ほえー。

⑪映画にもなった作品なんだけど、映画では、入国管理のオッサンはぎんぎんにクーラーのきいた部屋にいて、エアコンの音がうるさい。タンクの中のパレスチナ人は、助けてくれ、とタンクを叩くんだけど、エアコンの音にかき消されて、聞こえないのね。

⑫これって、パレスチナ人が苦境にいて死にかけているのに、クウェート人は何不自由ない生活してて、全然関心がない、つていう状況を露骨に批判してるよな。

⑬やっぱり嫌なヤツじゃないすか、クウェート。

⑭けど、こういう状況は、クウェー

ト人だつて、良くないなあつて思うわけよ。金余りでリッチな生活してるけど、パレスチナ人や他のイスラーム教徒がたいへんな目にあつてるのに、自分たちだけこんなほほんとした生活してて、いいの、と。金だけばら撒いてアメリカに守ってもらつて、それでいいの、と。

⑮……それって、どこかでもよく聞く話ですなあ……。

⑯政府はあてにならない、首長一族は腐つてる、と考えた若者は、ときにやばい方向にいく。

⑰というところ？

⑱イラクで「テロリストだ」といって米軍に殺された外国人のなかに、クウェート人が11人いる。

⑲そつちですか。

⑳イラクだけじゃなくて、アフガニスタンに義勇兵としてはせ参じたイスラーム教徒のなかにも、クウェートから行った者は少なくない。

ビンラーディンだつて、そうだよな。サウジで財閥の息子として何不自由ない生活が約束されていたのに、突然、これでもいいのか！と立ち上がる。自国では、反政府活動なんかできないう体質じゃないから、国外に出て、活動するようになる。

㉑貧しい人たちがテロに走るんじやなくて、金持ちの若者が義憤にかられちゃうんですな。

㉒おうよ。公正たるべきスポーツで不正を犯すんなら、正義もなにもない、知り合いの知り合いのアルカイダに言つて、鉄槌を下してもらおうぞ！くらいのことを、日本も言つてみたらどうよ？

㉓……師匠、危ないです……。㉔

酒井啓子

東京外国語大学大学院
地域文化研究科教授（イラク政治）